

初志をいつまでも忘れず
行動し続けます。

西宮市議会議員

田中まさたけ

市政・市議会報告



「現場主義」・「政策提案と活動報告」 これが、私の追求する「行動する政治」

これまで私は、西宮にある貴重な資源を守りながら、これからの西宮を創造するためには、抜本的な財政改革を行うことが絶対条件と考え、政策を提案してきました。住民の皆さんからの理解が得にくい政策が多かったかもしれませんが、一定の成果をあげることができ、これからの創造に向けた土壌はできつつあると考えています。

そして、先般の市会議員選挙の結果を受け、現場主義を再徹底しなければならないことを痛感しまし

た。また、私の「2期目の挑戦(政策目標)」の大部分は、さらに現場に出て、住民の皆さんと向き合っているかなければ、「結果」は出ないと考えています。

①現場で、より多くの意見を聞けるよう努力すること

②頂いたご意見をふまえ、政策や施策を、議会で行政(市)に対して提案すること

③その結果や現状を広く市民の皆さんに報告すること

この地道な活動が、私が貫きたい

「行動する政治」であり、これまで行ってきた活動の質をより高める必要があります。

私たちの世代の議員は、政治や行政の悪しき慣例を改善することを期待され、任期を頂いていると考えています。今後も、選挙で訴えた政策を実現するべく、「負の遺産の清算」と「市政の活性化」という初志をいつまでも忘れることなく、改善を加えながら、議会の内外で行動を続けてまいります。ご注目下さい。

市議会報告～西宮市監査委員の活動～

「SOUSHIKAI PRESS 30号」でもお知らせしましたが、2期目の1年目にして西宮市監査委員に選任されました。

市の監査委員は、議員から2名、識見を有する2名(現在は、公認会計士1名、行政出身者1名)の合計4名います。そして、予算の執行、契約、財産管理など財務に関する事務や行政運営にかかわる事業の管理が適正かつ効率的に行われているかをチェックしています。

これまで12月議会に行われてきた前年度の一般・特別会計の決算

審議が、今年度からは9月議会に前倒しされました。ですので、7月・8月には、従来から行われてきた公営企業(中央病院と水道局)の決算審査や定期監査(※1)、住民監査請求(※2)の審査、出納検査に加えて、一般・特別会計の決算審査を行う必要性が生じ、例年よりもさらに厳しい日程で行いました。約100ページに及ぶ資料を1日で熟読・調査し、質問会・審査に挑むという日々が続きました。そして、全局が対象となる決算質問会においては、私は事務・事業の効率性とその効果

に主眼を置き、審査・指摘致しました。

来年6月までの任期の間、この職責を全うするために、さらに市役所と向き合う時間が増えそうです。私自身の「行政活動の監視能力」をさらに強化し、この経験を今後の活動に活かせるよう全力で取り組んでまいります。

(※1)2年周期で、各局ごとに事務事業の監査が行われます。7月には健康福祉局の監査を行いました。

(※2)住民が市の支出の違法性や不当性などを問うことができる制度

中面：税金のゆくえ～西宮市の借金の現状～/「2期目の挑戦」の概要などを掲載しています

税金のゆくえ～市の借金の現状～

前号で、平成19年度の予算の概要をお知らせし、その内容の詳細は今回以降でお伝えする旨を掲載しました。ですのでまず、今回は、市債(市の借金)と公債費(借金の返済金)について、もう少し詳しくお伝えします。

下の表は、平成19年度の借金の動向と借金の要素が強い「債務負担行為」の現状を掲載しました。今年度は、市債を約280億円返済し、新たに約90億円借入れて事業が行われます。震災の影響が大きく、一時は約4356億円まで膨れ上がった市債残高でしたが、今年度末には、約2075億円となる見込みです。ただし、今年4月から、下水道事業が公営企業化され、約974億円が一般・特別会計の市債残高から消えました。実際には、この借金の返済の大部分が一般会計(市税など)から支払われます。また、「債務負担行為」も借金と見なすべきものがあります。実際には、将来にわたって支払い義務

が生じているからです。国は先般、こうした見えにくい借金(公営企業や第三セクターの借金など)も含めた財政指標(将来負担比率など)を公表するよう自治体に義務付ける法律を制定し、来年から明らかにされます。

市が借金をするためには、県知事との協議もしくは許可が必要となっています。また、道路や公共施設などは、将来にわたって住民の利用に供されるため、将来の住民にも費用を負担して頂くという観点(世代間の負担の公平性)からも、起債(借金して事業をすること)は必要な措置といえます。しかしながら、西宮市は、総支出に占める返済金の割合が、標準より高くなっていたため、これまで必死で財政改革を進めてきました。また、赤字を埋めるための借金といえる臨時財政対策債(※1)を、発行しなくてはならない状況も問題であり、今後、改善しなければなりません。

そうした中、市は、赤字債権団体(財政破綻)への転落を免れただけでもいえる現在の財政状態を、「明るい兆しが見え始めた」としています。そして早速、これまでと同じような意思決定の方法(場当たりの対応)で予算計上された、起債事業もありました。現在の財政状況にまで立て直すために、この3年間、私たち市民にも「痛み」を押し付けて財政改革を断行してきたことを、決して忘れてはならないと考えています。

ですので、これからの西宮の創造のために必要な投資を行うに当たって、今後は同じ失敗を繰り返さないよう、市には財政運営における意識改革(場当たりの対応の改善)を求め、効率的な事業手法を提案してまいります。

(※1) 国の地方財政対策において、財源の不足に対処するため、平成13年度以降、各地方公共団体において発行することとされた地方債。期限付きの措置で、近々に認められなくなる見込みです。

■平成19年度予算における借金(市債)・公債費の動向

借金の種類		19年度償還額(公債費)		19年度借入見込額	19年度末残高見込額	備考
		元金	利子			
一般・特別会計合計		230億4200万円	50億2700万円	89億8800万円	2074億9100万円	
主な内訳	衛生債	39億3800万円	5億8200万円	4億600万円	188億8400万円	ごみ処理場建設等に使用
	土木債	107億4000万円	27億5100万円	31億円	1032億4000万円	道路や市営住宅建設等に使用
	教育債	21億9000万円	4億7800万円	11億6700万円	137億1600万円	学校建設等に使用
	災害復旧債	18億7300万円	2億6400万円		89億1600万円	災害復旧のために使用
	臨時財政対策債	6億6500万円	3億5600万円	34億9900万円	274億3500万円	※1
	特別会計	3億300万円	3200万円		9億6900万円	

■債務負担行為(数年度に渡る建設工事、土地の購入等翌年度以降の経費支出や、債務保証又は損失補償のような債務不履行等の一定の事実が発生したときの支出を予定するなど、将来の財政支出を約束する行為。)

	平成19年支出見込額	平成19年度の新規増加分	平成20年度以降の支出見込額	※左表のほかに、西宮市土地開発公社(最高360億円まで)や出資団体に対して、債務保証も行っています。
一般会計	28億2000万円	24億6200万円	280億9300万円	
特別会計	3億1400万円	5900万円	4億8300万円	

～2期目の挑戦～



以下の内容が、田中まさたけの「2期目の挑戦」です。まずは、これまで提案し、実現している政策を着実に進め、「ルールを守って努力している人たちが、不利益を被らない市政の実現」に向けて努力します。また、より一層現場に足を運んでニーズを汲み取り、今任期中に策定される第4次総合計画（計画期間平成21年度～30年度）に反映させるなど、実現を目指します。

■議会改革

「議員に対する処遇」については、改善を進めています。今後も、「議員定数の削減」を中心に、議会の機能強化に向けた改革に取り組みます。

■行政改革・財政改革の断行

行政改革に終わりはありません。まずは、1期目で提案して実現した「第3次行財政改善計画」や「行政経営改革」が適正に進められるよう監視します。また今後も、公正な受益と負担に主眼を置きながら、財政の安定化を目指します。

◆市役所の構造改革と意識改革の一層の促進/入札・契約手続きの公正性と透明性の向上など

■教育環境の向上

私も子育て世代の一人です。「子育て支援施策における格差の是正」と「公立のサービス・教育内容の向上」を促し、次世代を担う子どもたちをしっかりと育てられる環境づくりを目指します。

◆在宅保育と施設保育の支援格差の是正/幼稚園・保育所における受益と負担の公私間格差の是正/「学校評価」を活用した公立小・中学校の教育改革など

■自然環境の改善

西宮にある貴重な自然を後世に残すためには、環境汚染を食い止めると同時に、環境再生にも取り組

まなければなりません。時間とコストの掛かる問題ですが、現場に足を運び、地道に取り組みます。

◆環境再生（海・川の水質浄化）/上下水道事業の安全かつ安定的な運営など

■福祉サービスの維持

現状の福祉サービスを維持するためには、地域福祉の普及により、新たな仕組みづくりが重要な鍵を握っています。特に、「高齢者や障害者が安心して自立的な生活を営める環境づくり」に関して重点的に取り組みます。

◆障害者支援・高齢者支援の持続可能な仕組みづくり/民営化を視野に入れた西宮市立中央病院改革/生活空間におけるバリアフリー化の推進など

■まちづくり

「自然環境との調和」と「安心・安全」に主眼を置き、住環境の向上を図るべく提言を行います。

◆社会基盤（道路、学校園・その他の公共施設、上下水道など）の安全性の確保を前提とした維持管理の効率化と費用負担の平準化/防犯対策の強化など

■その他

◆広報の機能強化/「市民の参画と協働」の実効性追求/商工政策の実効性の追求など

詳細は、<http://www.masatake.jp/>をご覧ください。

意見交換会・市政報告の出前を、募集しています

早朝の駅頭や街頭で活動したり、会合や勉強会に参加した際に、市政に関するご意見を伺うことが多く、皆さんが何かと市政に対するご意見をお持ちであることを実感しています。そして、「別途市政に関する報告会・意見交換会を開いたらどうだ」といったご意見を頂くようになり、2年前から形式や人数を問わず、意見交換・市政報告の出前を始めています。そして、既存の勉強

会等に呼んで頂くなど、少しずつ申し込みも増えています。また、ご意見を頂くと同時に、政治不信の元凶である市政や市議会に対する誤解も解けることが多い状況です。

当方で日程や議題・会場を決めて集まって頂くよりも、皆さんの関心に合わせた議題やご希望の日程・会場で行うことで、自由に意見交換を行い、話題の内容も深めたいと考えています。

ご希望の方は、封書・お電話・FAX・E-mailのいずれかの方法で是非ともご連絡下さい。日程や場所、議題を調整させていただきます。

